

2017年度 第82回日本オープンゴルフ選手権 コースセッティングについて

【岐阜関カントリー倶楽部・東コース】

名匠、上田治氏の設計により、1964年に岐阜県関市の丘陵地に開場した岐阜関カントリー倶楽部。日本オープンの舞台となるのは、東コースとなる。開場以来、ワングリーン化やホールへの入れ替え、バックティーの増設など改良を重ねてきた東コースは、1973年に日本プロゴルフ選手権、1990年に日本女子オープンゴルフ選手権、2009年に日本女子プロゴルフ選手権が開催されている。本年、日本オープンが開催されることで、国内で初めて上記4つの国内メジャー競技の舞台となる。ゴルフファンの皆様には、幾多の名勝負が生まれた国内屈指の名コースで日本一の男子ゴルファーを決する瞬間を見てもらいたい。

【コースセッティング (予定)】

項目		
ティーインググラウンド		刈り高 8mm
フェアウェイ		刈り高 10mm
ラフ		100mm～120mm ファーストカット 刈り高 30mm 幅 230cm
グリーン	速さ コンパクション	ステインプメーター13～13.5feet 24 (山中式)

【距離とパー (予定)】

7,180 ヤード、パー70 (東コース 18 ホールを使用)

HOLES	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
YARDS	492	225	462	418	173	410	544	492	429	3,645
PAR	4	3	4	4	3	4	5	4	4	35

HOLES	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN
YARDS	491	333	165	405	196	570	502	400	473	3,535
PAR	4	4	3	4	3	5	4	4	4	35
TOTAL							7,180yards Par70			